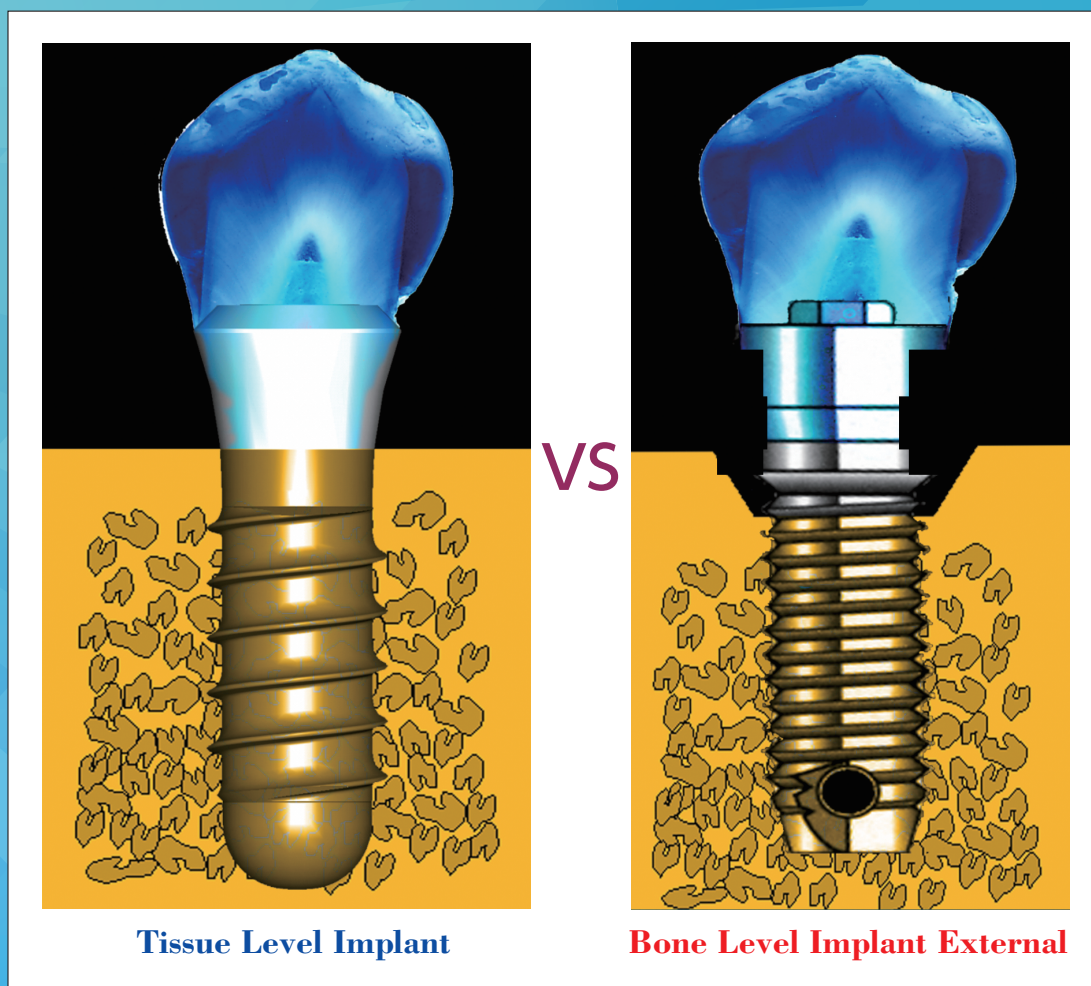


# ティッシュレベルインプラント

## ベーシック編&アドバンス編

【著】玉木 仁

医療法人社団一仁会  
日本橋インプラントセンター理事長  
歯学博士



第一歯科出版

ボーンレベルインプラントユーザー必見!

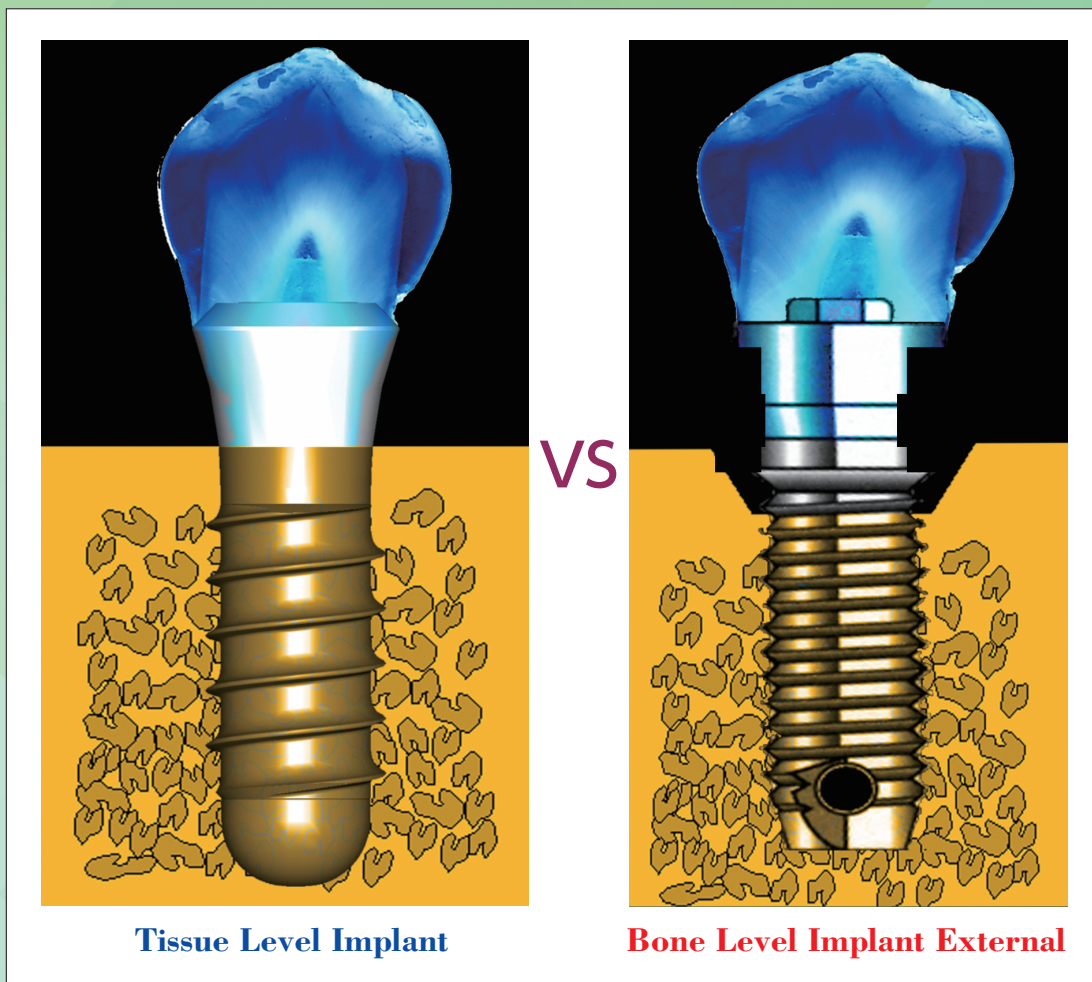
# ティッシュレベルインプラント

## ベーシック編

なぜティッシュレベルインプラントの長期経過が良いのか? その理由を探る!

【著】玉木 仁

医療法人社団一仁会  
日本橋インプラントセンター理事長  
歯学博士



第一歯科出版

# CONTENTS

## 推薦の言葉

大島 勇人（新潟大学大学院 教授）	3
正木 千尋（九州歯科大学 准教授）	4
船越 栄次（船越歯科歯周病研究所 所長）	5
<b>緒言</b>	6
<b>I. 著者のインプラント経験</b>	8
<b>II. 物事の不変の法則、真理</b>	10
i) 本書を執筆するに当たって	10
ii) 物事の不変の法則、真理	11
<b>III. インプラントの分類</b>	13
i) ボーンレベルインプラント	13
ii) ティッシュレベルインプラント	14
<b>IV. 論文的考察によるTLIの優位性</b>	15
i) スウェーデンスタディ	15
ii) 他の論文紹介とその要約	19
<b>V. 骨吸収およびインプラントの経過不良の原因</b>	23
i) Biological width による骨吸収	23
ii) 機械的構造力学的な力による骨吸収や経過不良	26
iii) 一般的事象および普遍的概念による骨吸収や経過不良	29
<b>VI. BLIにヒーリングアバットメントを付けて1回法手術にすれば、TLIの代用になるのか？</b>	30
<b>VII. プラットフォームまでフルラフサーフェスのBLIは、なぜインプラント周囲炎を惹起するのか？</b>	32
<b>VIII. 理想的なインプラントデザインとは</b>	34
【追記】直近の研究からの考察	37
<b>IX. 臨床を行うに当たっての必要条件および臨床症例提示</b>	41
i) 長期に良好な経過をたどるための10の必要条件	41
ii) 臨床例（症例1～5）	49
<b>X. まとめ</b>	68
<b>あとがき</b>	71

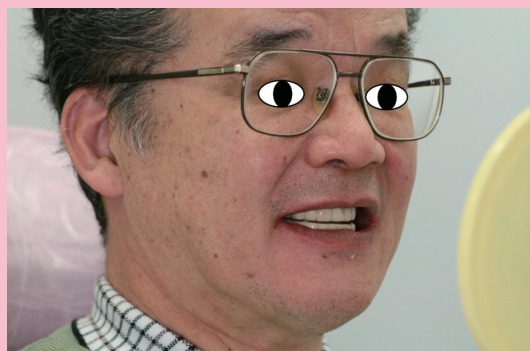
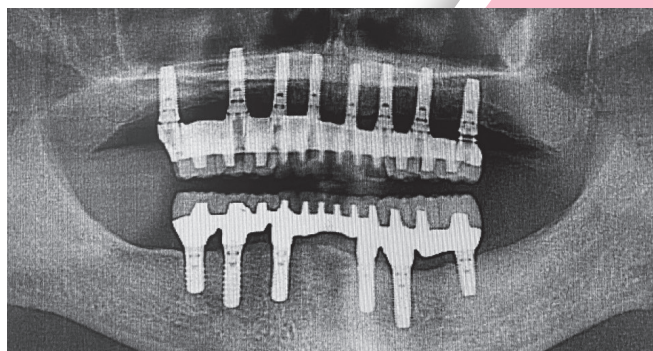
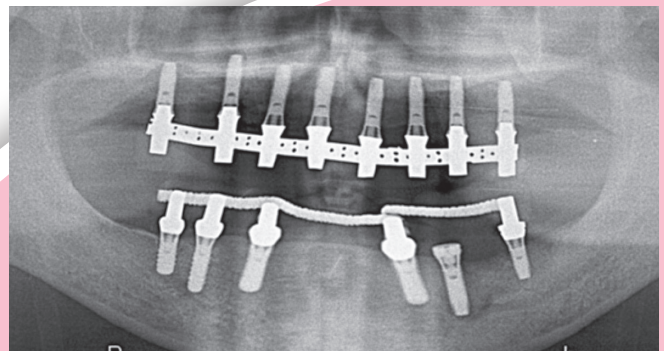
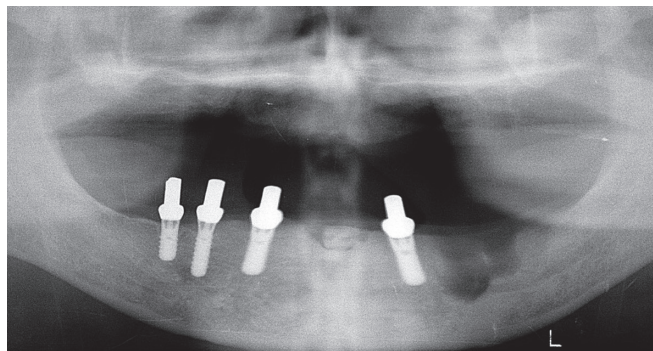
即時荷重インプラント治療の実践的手引き

# ティッシュレベルインプラント アドバンス編

無歯顎・多数歯欠損患者への治療戦略

【著】玉木 仁

医療法人社団一仁会  
日本橋インプラントセンター 理事長  
歯学博士



第一歯科出版

# CONTENTS

即時荷重インプラント治療の実践的ガイド

## ティッシュレベルインプラント アドバンス編

無歯顎・多数歯欠損患者への治療戦略

推薦の言葉（細川 隆司） 3

緒言（玉木 仁） 4

### Chapter 1 即時荷重とは？ 9

1. 即時荷重の定義	10
2. 即時荷重の定義の変遷	10
3. 即時荷重の必要条件	12
4. 即時荷重は1回法治療である～ティッシュレベルインプラントが理想的～	13
5. レジンテンポラリーブリッジを使用した場合の即時荷重の問題点	14
6. スウェーデンにおける各社インプラント治療の有効性の分析	15
7. ティッシュレベルインプラント（TLI）vs ボーンレベルインプラント（BLI） そして生物学的幅径および構造力学に目を向けて	21

### Chapter 2 即時荷重の文献学的考察 25

1. インプラントの失敗発生率の検証	26
2. 下顎無歯顎の可撤式補綴	28
3. 下顎無歯顎の固定式補綴	31
4. 上顎無歯顎の可撤式補綴	33
5. 上顎無歯顎の固定式補綴	33
6. 即時荷重治療に関する代表的な論文	34

### Chapter 3 診査・検査・診断 39

1. 科学的・文献学的根拠に基づいた治療計画と患者のQOL向上を目指す	40
2. 診査および検査事項	40
1) 全身的診査	40
2) 禁忌症	41
3) 局所的診査	41
3. CT撮影	46
4. 血液検査	47
5. 散見される注意すべき非適応患者	48
6. 同意書、承諾書	51

## Chapter 4 インプラント埋入外科手術 53

1. インプラントの本数・配置	54
2. 埋入時の注意事項	56
3. 骨質分類 Class 4（軟らかい骨質）に対応する埋入外科手術	57
1) Using Easy Getting Stability Type Implant	57
2) Bi-cortical Support Technique	59
3) Adaptation Technique	60

## Chapter 5 インプラント埋入後における暫間補綴装置の準備 61

1. 即時荷重暫間補綴装置の具備すべき条件	62
2. 印象採得	63
3. 咬合採得	66
4. 上顎の場合はフェイスボウトランスファーを行う	68
5. インプラント埋入後における処置（骨補填⇒ヒーリングキャップ装着⇒縫合）	68

## Chapter 6 作業用模型および暫間補綴装置の作製（技工作業） 69

1. 作業用模型および暫間補綴装置作製の前準備	70
1) 作業用模型の作製	70
2) アナログ固定	71
3) 疑似歯肉の挿入	71
4) 石膏注入	72
5) 印象用トレーを外した状態	72
6) 咬合器装着	73
2. メタルフレームの作製（蠟着、熔接）	74
3. 歯冠部の作製	75
4. 暫間補綴での咬合	76

## Chapter 7 暫間補綴装置の作製と装着方法 77

1. 暫間補綴装置の装着方法	78
1) 暫間補綴装置作製における準備	78
2) 患者における注意事項	78
3) 暫間補綴装置の装着における咬合（再掲）	80
2. 暫間補綴装置装着時における患者への注意事項	80
3. 暫間補綴装置に対する考察	80

## Chapter 8 最終補綴装置の作製と装着方法 83

- 1. 最終補綴装置の材料および装着方法 ..... 84
- 2. 最終補綴装置の装着 ..... 86

## Chapter 9 症 例 87

- 症例 1 無歯顎多数歯欠損患者の即時荷重治療における暫間補綴装置は、メタル連結補強にすべきと考えるようになった症例（上顎即時荷重 11 年超経過） ..... 88
- 症例 2 上顎左右残存骨が 10mm 前後存在するが、骨質が緻疎な患者への即時荷重症例（下顎は即時荷重 18 年超経過、上顎は即時荷重 11 年超経過） ..... 96
- 症例 3 下顎は抜歯即時荷重症例（15 年超経過）、上顎は重度歯周病患者に対して抜歯即時および待時を検討した症例（8 年超経過） ..... 107
- 症例 4 骨質が緻疎な上顎無歯顎、下顎前歯部が残存しているが将来的に無歯顎になる患者に対して、安全を考慮した即時荷重治療の方針を考案した症例 ..... 124
- 症例 5 上顎前歯部は残存骨が存在し、臼歯部は残存骨が極少患者への即時荷重症例 ..... 133
- 症例 6 上顎 7 本インプラント埋入で即時荷重治療を行った 17 年経過症例 ..... 146
- 症例 7 上下顎の残存骨が極少のケースに即時荷重治療を行った症例 ..... 152

あとがき 159

著者紹介・奥付 160